



①越前大野城の内装・展示をリニューアル ②越前大野城と桜 ③お福池の水面に映る越前大野城

## 主な内容

3月定例会の概要	2・3ページ
代表質問の概要	4～6ページ
一般質問の概要	7～11ページ
常任委員会審査報告	12・13ページ
議案等の各議員表決	14ページ

大野市議会では、議会日程や議案等の審議経過及び結果、会議録などの議会情報をホームページでも掲載しています。ぜひご覧ください。



発行：大野市議会

〒912-8666 福井県大野市天神町1-1  
Tel 0779-64-4830 Fax 0779-65-3021  
<http://www.city.ono.fukui.jp/>

編集：議会だより編集委員会

# 3月 定例会の概要

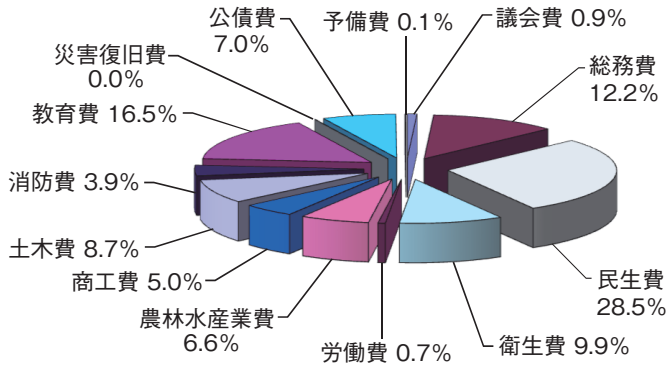
第433回定例市議会が2月27日から3月24日までの26日間の会期で開催されました。

今回の定例会では、令和5年度の各会計予算案、令和4年度各会計補正予算案、条例の制定・改正・廃止、人事案件などの全37議案のほか、議員提出の市会案1件について審議しました。審議結果は、14議案のとおりです。

また、中部縦貫自動車道等交通対策特別委員会、こども政策・公共施設等改革特別委員会を設置しました。

## 令和5年度各会計予算決まる

歳出(目的別)



第六次大野市総合計画前期基本計画の3年目に当たり、将来像「人がつながり 地域がつながる 住み続けたい結のまち」の実現に向け、各種施策を進めます。

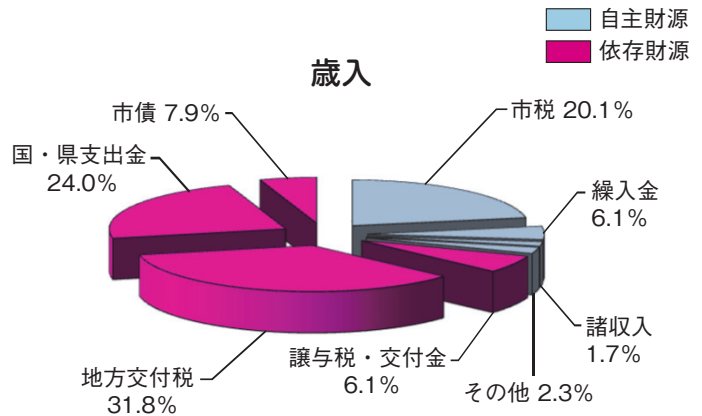
目前に迫る高速交通網の市内・県内延伸を最大のチャンスと捉え、地域経済の活性化、県内で一番の子育てしやすいまちとなり、新しい学び舎づくりに取り組むための子育て・教育の環境整備、地域づくりの核となり協働を支える人づくり・人材育成、市民の生命と財産を災害から守り、安全・安心な暮らしを守る防災対策に取り組みます。

加えて持続可能な大野市を創り未来へつないでいくために、健康のまちづくり、脱炭素ビジョンの実現、デジタル行政の推進を積極的に展開します。

会計名	予算額	対前年度増減率, %
一般会計	190億5000万円	10.3
特別会計	84億5918万円	3.1
企業会計	22億5975万円	3.5
<b>総計</b>	<b>297億6893万円</b>	<b>7.6</b>

※特別会計は、国民健康保険事業や介護保険事業など6会計の合計額。企業会計は水道事業、簡易水道事業、下水道事業の3会計の合計額。

歳入



### 特別委員会設置

#### 二つの特別委員会を設置

住み続けたいまちづくりを目指して、ハード・ソフト両面において、本市の今後の交通対策をしっかりと議論するため、中部縦貫自動車道等交通対策特別委員会を設置しました。

中部縦貫自動車道等交通対策特別委員会	こども政策・公共施設等改革特別委員会
◎山崎 利昭 ○高田 育昌 ○高田 育昌 ○岸本 一敏 ○林 順和 ○梅林 厚子 ○高岡 和行	◎伊東由起恵 ○猪嶋 清文 ○笹山 晃一 ○白崎 貴之 ○木戸屋八代実 ○廣瀬 浩司 ○野村 勝人

◎が委員長、○が副委員長

### 補正予算議案

令和4年度一般会計予算に5894万円を増額

令和4年度の一般会計予算に5894万円を増額し、予算の累計を195億5472万円としました。

住民税非課税世帯等に対し1世帯当たり1万円を給付する生活応援給付金給付事業に2255万円、電子割引クーポン「おのおの割」・「もつとおおの割」の追加発行に4550万円の増額などを行いました。

また、本市の少子化問題等に対応した子ども政策と、公共施設の再編について、実行性のある具体的な方策の調査・研究を行うことなどを目的として、こども政策・公共施設等改革特別委員会を設置しました。

それぞれの委員の選任と正副委員長の互選を行いました。

# 一般会計予算の主な事業

## 高速交通網の県内延伸を生かす

- 観光を軸に稼ぐ新組織設立事業 235万円  
市内事業者と連携して観光を軸に稼ぐ事業を推進する新組織の設立に向け、弁護士などの専門家を交えたサポート体制を構築します。
- 日本一の星空発信事業 1945万円  
六呂師高原での星空保護区の認定取得や「星空の街・あおぞらの街」全国大会を開催します。

## 子育て・教育の環境整備

- 屋内型子どもの遊び場整備事業 851万円  
天候に左右されず、子どもたちが安全に安心して遊ぶことができる屋内型の子どもの遊び場整備に向けた実施設計を行います。
- 小中学校再編計画推進事業 8978万円  
校区ごとの再編準備委員会で課題などを協議し、再編に向けた準備を進めます。令和6年度の中学校再編に向けてスクールバスを購入します。

## 人づくり・人材育成

- クラウドファンディングで叶える地域の未来応援事業補助 585万円  
地域づくり団体等が取り組む地域の課題解決や魅力向上につながる活動を市が認定し、クラウドファンディングサイトを活用し、募集した寄付金が目標額に達した活動に補助します。
- 林業就業者支援事業補助 619万円  
林業事業者の新規就業者雇用や従業者への装備品供与に対して補助します。

## 安全・安心な暮らしを守る防災対策

- 流域治水に関する事業 1億2961万円  
河川改良・浚渫<sup>しゅんせつ</sup>、調整池整備、森林整備、地域防災マップや避難支援プランの作成推進などに取り組みます。
- 豪雪地帯安全確保緊急対策事業 437万円  
除排雪中の事故が増加していることを踏まえ、地域ぐるみで行う除排雪の戦略的方針を策定。試行的な取り組みとして地域ぐるみの除排雪資機材購入費を補助します。

## 健康のまちづくり

- 健康づくり応援事業 5410万円  
ヘルスウォーキングプログラムの参加枠を市民2470人に拡充します。
- 出産・育児スタート応援事業 4237万円  
妊娠期から子育て期にわたる一貫した伴走型の相談支援と、妊娠・出産時の経済的支援を行います。

## 脱炭素ビジョンの実現

- ゼロカーボン推進事業 528万円  
2050年カーボンニュートラルの実現に向けた普及啓発や脱炭素ライフスタイルへの転換を促進します。
- おおの森づくりプラン策定事業 72万円  
林業関係者や学識経験者などで構成する策定委員会を立ち上げ、おおの森づくりプランを策定します。

## デジタル行政の推進

- 住民基本台帳ネットワークシステム経費 957万円  
住民票などのコンビニ交付手数料を減額し、マイナンバーカードによるコンビニ交付を促進します。
- 地番図・家屋図電子化事業 3387万円  
登記情報課税台帳連携システムを構築し、土地・家屋の登記台帳を電子化します。

### 条例の制定等

大野市個人情報保護に関する法律施行条例案

個人情報保護に関する法律の一部改正に伴い、同法の施行に関する必要な事項を定めました。

大野市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案

学校運営協議会を設置するに当たり、委員の報酬等の額を定めました。大野市手数料条例の一部を改正する条例案

マイナンバーカードを利用して、コンビニエンスストア等の多機能端末機により各種証明書を交付する場合、交付手数料を100円減額することを定めました。

大野市高齢者に対するはり・きゅう及びマッサージ療養費の助成に関する条例を廃止する条例案

はり・きゅう及びマッサージ療養費の助成について、高齢者の健康増進

及び介護予防に関する事業に一本化するため条例を廃止しました。

### その他の議案

損害賠償額の決定について  
平成の湯で発生した転落事故について、損害賠償の額を決定しました。

### 市会案

大野市議会の個人情報の保護に関する条例案

個人情報の保護に関する法律の一部改正に伴い、大野市議会の個人情報の取り扱いに関し必要な事項を定めました。

### 人事案件

監査委員の選任について

松田浩次氏（大和町）と廣田憲徳氏（上野）を選任することに同意しました。

人権擁護委員候補者の推薦について

長谷川俊基氏（大月）を推薦することに同意しました。



市議会

ひろせ

浩司

議員



代表質問

# 株式会社平成大野屋については、市内の業者と連携して、新たな組織の設立を目指すとしている。どのような組織を目指しているのか

新組織では、これまで平成大野屋、大野市観光協会、大野商工会議所がそれぞれで行ってきた観光に関する事業の統合や、観光需要の調査・分析を行う

**問** 令和5年度当初予算について、市長が最も重視した点は何か。

**答** 目前に迫る高速交通網の県内延伸を生かし、地域経済を活性化させる施策を進めること、若者が大野で住んで、結婚して、子育てをしたくなるような子育て・教育の環境整備を進めることに重点を置いた。

**問** 中学校の再編に向けては、中学校再編準備委員会でいろいろ検討されてきた。制服・体操服の選定、スクールバスの運行については、どこまで決定されたのか。

**答** 制服と体操服については、現在、メーカーの既製品の中から機能面やデザイン面などの条件を満たした案を募集している。今後は、3点から5

点程度を選定し、令和5年度早期に児童・生徒の投票で新しいデザインの候補を絞り、6月中には最終選定を行う予定。

スクールバスについては、上庄中学校区は3本、尚徳中学校区は4本、和泉中学校区は1本を運行することが決定された。正式なルートは、令和5年度の早い時期に各中学校区の保護者や学校と協議し、1学期中には決定したい。

**問** 天候に左右されず、子どもたちが安全に安心して遊ぶことができる屋内型子ども遊び場の整備は、今後どのように進めていくのか。

**答** 令和5年3月に基本計画案を取りまとめ、令和5年度において、パブリックコメントを経

て、基本計画を策定し、実施設計を行う。令和6年度には、施設改修や遊具などを整備し、同年度中の供用開始を目指す。

**問** 長期休業期間の子どもの居場所づくりについて、エキサイト広場を活用するとは。

**答** 令和5年度の夏休みから「学びと遊びと体験の広場」と称した活動の場を提供する。これは、乾側・小山・上庄・富田・阪谷地区の児童を対象に実施している放課後子ども教室を、開催日数を増やす形でエキサイトを広場で実施するもの。夏休みは、放課後児童クラブ、夏休み子どもチャレンジ教室、BG塾、エキサイトウィークと連携し、冬休みと春休みは放課後児童クラブと連携して開催する。

市において開催する」としている。この大会の具体的な内容は。

**答** 星空保護区については、3月末に認定に必要となる光害対策の工事完了を祝う点灯式を行い、8月の認定を目指す。「星空の街・あおぞらの街」全国大会については、10月8日・9日に開催する。8日夜には六呂師高原において星空観望会を行い、9日は市内の視察を予定している。

**問** 株式会社平成大野屋については、市内の業者と連携して新たな組織の設立を目指すとしている。どのような組織を目指しているのか。

**答** 新組織においては、市内事業者の観光で稼ぐ力を向上させるため、これまで平成大野屋、大野市観光協会、大野商工会議所がそれぞれで行ってきた観光に関する事業の統合や、観光需要の調査・分析を行うなど、本市の観光や誘客、物産の販路拡大のための情報を総合的に発信できる機能を強化したい。

**問** 譲渡予定の宝慶寺いこいの森、国民休養地、九頭竜スキー場、和泉前坂家族旅行村については、譲渡に向けて、どのように取り組んでいくのか。

**答** 宝慶寺いこいの森については、令和4年9月から譲渡先を公募したが応募がなかったため、応募資格を市内の法人から県内の法人まで広げ、令和5年度に改めて公募する。それでも譲渡先が選定できなかった場合は、廃止を検討する。国民休養地パークホテル九頭竜や九頭竜スキー場については、令和6年度の指定管理終了までに、和泉前坂家族旅行村については、令和10年度までに、それぞれ民間事業者への譲渡を検討している。敷地の大部分が借地であり、令和5年度から地権者等と協議を進める。

# 観光客の誘客、新規企業の誘致、地元企業の産業ブランド力向上の現状と進め方について



大野市民の会

岸本 一敏 議員



## 高速交通網の県内延伸を最大のチャンスと捉え、地域経済活性化策を推進する

**問** 第六次大野市総合計画前期基本計画の六つの基本目標における2年間の進捗状況と成果は。

**答** 全57の成果指標のうち、令和3年度末時点で、令和7年度目標数値を達成したものは8件。数値が振るわなかったものは、体育施設利用者数、宿泊者数、JR越美北線の乗客数など。

**問** 第六次大野市総合計画前期基本計画の六つの基本目標において、令和5年度で市長が最も訴えたいこと、特に力を入れていることは。

**答** 高速交通網の県内延伸を最大のチャンスと捉え、地域経済を活性化させる施策と、若者が大野に住んで、結婚して、子育てをしたくなるような子育て・教育の環境整備

を進める。

**問** 現在までどのくらい企業に誘致の働き掛けをしているのか。

**答** 富田産業団地の整備を始めた平成28年度から現在まで、市単独で延べ約700件の企業訪問を実施。また企業の投資情報の収集や富田産業団地の周知・広報を兼ねたアンケート調査を全国1万4千社の企業へ発送し、約1300社が回答。うち「富田産業団地に魅力を感じる」と回答した約20社に対し、今後も委託業者を通じて聞き取りを行い、市が折衝を継続する。

**問** 企業誘致を働き掛けた具体的な業種と企業の反応・感触は。

**答** 物流関連産業をはじめ製造業など幅広い分野

での誘致活動を行ってきた。中部縦貫自動車道の県内全線開通時期が示されたことで、物流や製造など新たな拠点の候補地の一つとして企業から関心を示されている。

**問** 地元企業への稼ぐ力応援事業、魅力発信プロジェクト、モーシヨ事業とは。

**答** 新年度からは、企業の人材確保に対する支援策として、県の補助に上乗せするDX専門人材活用事業補助と、採用情報を充実させるホームページの作成、合同企業説明会への出展費用に補助する人材確保事業補助を新設する。稼ぐ力の向上に積極的に取り組む事業者を支援していく。

**魅力発信プロジェクト** モーシヨ事業は、本市の魅力在全国に積極的に発信するもの。令和5年度からは、特に8月の星空保護区の認定、秋に予定される九頭竜インターチェンジの開通や行楽のシーズンに合わせて、効果的な情報発信を行っていく。

**問** 道の駅「越前おおの荒島の郷」を介して、さまざまなイベントや各種情報を観光客にどのように発信しているのか。今後の取り組みは。

**答** 観光パンフレットやチラシ等を配置、デジタルサイネージで季節ごとの観光動画を配信し、食や観光地、飲食店等の情報を発信することで、荒島の郷からまちなかエリアをはじめとする各エリアへの周遊を促進している。本市の旬の観光情報を今後も提供し、周遊観光を推進する。

**問** 長期休業期間の子どもの居場所づくりとは具体的にどのような内容か。

**答** 夏休みからエキサイト広場を会場に、5地区の放課後子ども教室の子どもたちを集めて、放課後児童クラブとの遊びを通じた交流や、夏休み子どもチャレンジ教室、B G塾を組み合わせて実施。朝8時から夕方6時までを予定し、受け入れ

人数は、保育を必要とする児童を優先して、定員40人を予定する。

**問** 部活動地域移行推進事業として運動部・文化部の中学校における休日部活動の段階的な地域移行の進捗状況を伺う。

**答** 昨年8月から、3競技団体に委託し実践研究を行い、受け入れ団体の理解により、着実に進捗している。

課題を整理し、生徒が適した環境でスポーツ活動に親しめるよう、休日における部活動の地域移行を進めていく。文化部は市文化協会の理解を得ながら、令和5年度から休日における地域移行への取り組みを進める。

**問** 脱炭素ビジョンを実現させるためには、市民・事業者への浸透が不可欠と考えるが、本市の取り組みは。

**答** 行政と共に脱炭素に向けて取り組んでいく機運を高めていくため、各地区で脱炭素ビジョン説明会を開催する。

代表質問

# 高齢者の移動手段についての対策と今後の方向性は



もえぎ会

木戸屋八代実 議員



代表質問

## 令和6年度から実行する大野市地域公共交通計画と併せて見直す

**問** 公共施設の耐震補強をしているが、近年の実績は。

**答** 多人数が利用する建築物の令和3年度の耐震化率は、94.7%である。

**問** 令和5年度当初予算案の歳入において、繰入金は前年度比44.4%増、市債は67.9%増となっている。健全化財政に向けて配慮点や努力点は。

**答** 繰入金や市債が増加した主な要因は、学校施設の改修やスクールバスの購入、民間保育所の園舎移転新築費用の補助、うらら館の木質バイオマスポイラの導入、中ノ堂公園の用地購入などの大型・臨時的事業が重なったこと。

令和6年度以降の大型・臨時的事業は、学校施設改修、広域ごみ処理施設の基幹的設備改良工

事、防災行政無線システムの更新などがある。大型事業が完了した後

は、将来に向けて基金の積み増しに努めていく。

**問** 市では、いくつかの大学と連携し研究活動を行っているが、市政にどう生かしているのか。

**答** 大学と連携する効果は、高度な知識を事業に活用でき、学生のまちづくり参加によってアイデアや地域の賑わいが生まれることである。

**問** 市はゴミ減量化・分別化に力を入れているが、現状は。

**答** 令和4年度のごみ処理施設への搬入量は前年度比3%減少した。リサイクル率は2.9%増となった。

地のまちなか観光に誘導されたのか。

**答** 昨年1年間の携帯電話の位置情報データを用いた人流調査によると、道の駅「越前おおの荒島の郷」の利用者が中心市街地を訪れた割合は約32%である。

**問** 令和5年度当初予算案では、流域治水対策事業を強化している。その主な施策は。

**答** 建物浸水被害軽減の早期対策として、3カ年で善導寺川などの河道掘削や新堀川の護岸改修、雨水貯留施設整備を計画している。

新年度は、善導寺川などの\*浚渫や護岸改修、雨水貯留施設の実施設計、また奥越ふれあい公



令和4年8月4日 新堀川の水があふれ道路が冠水

園内の池に雨水貯留機能を持たせる浚渫と水門の修繕を行う。

**問** 近年、本市の耕作面積は減少し、農業の後継者も不足している。対処する施策は。

**答** 新規就農者の育成では、資金の支援や就農相談などを実施。農地の集積・集約化による生産性の向上、離農する農地の新たな耕作者確保などに努めている。令和5年度は2人の新規就農者の支援を予定している。

**問** 高齢者の移動手段の確保が喫緊の課題である。取り組んでいる施策と今後の方向性は。

**答** 令和6年度から始まる大野市地域公共交通計画の策定と併せて、市内公共交通ネットワークの再構築を進めている。

新しい交通ネットワークは、交通事情の変化に伴う路線の見直しを進め、中部縦貫自動車道を利用した大野・和泉地区を結ぶ、新しい市営バス路線の運行を予定している。

2月から柿ヶ嶋区に

において地域住民による助け合い移動支援を試験的に運行している。公共交通を補う地域住民による助け合いの移動支援について、引き続き検討する。

**問** 令和6年4月に中学校が2校に統廃合される。スクールバスの安全安心な運行に向けての取り組みは。

**答** 再編準備委員会の通学安全部会で、停留所での乗降、降雪時の対応、自宅から停留所までの安全確保など、運行時の課題が出された。現在運行しているスクールバスの対応を参考にして、安全で安心な運行方法を検討する。

スクールバスに乘車することによる生徒の体力低下も懸念される。停留所までの距離は自宅から1.5km以内を基準とし、ルートと停留所、運行方法を令和5年度の1学期中に決定したい。

\*浚渫：川底に堆積した土砂をさらって取り除くこと

# 物価高対策、全市民を対象に行うことを強く求める



無会派

野村 勝人 議員



## 状況を把握しながら検討する

- 問** 原材料価格や物流費の高騰などで、食料品をはじめ、光熱費の値上げが続いている。帝国データバンクによると、本年の値上げは、価格を変えずに内容を減らすという実質値上げのケースが増えている。今やこの物価高はさまざまな業種、全市民に大きなダメージを与えていると思われ
- 答** 市民生活への影響をどのように把握・認識し、どの層にどのような支援が必要と考えているか。
- 答** 日常生活に密接したエネルギーや食料品等の価格が上昇しており、市民の家計負担に大きな影響を与えているものと認識している。物価高の影響を受けやすい低所得子育て世帯や住民税非課税世帯への支援が特に重要であると考えている。
- 問** 先の12月議会的一般質問で全市民への暖房費の助成を求め、また日本共産党大野市議団が全市民を対象に行ったアンケートを基に、市長に物価高対策を求める要望書を提出している。
- 答** 今こそ全市民を対象に支援を行うべきではないか。実現することを強く求める。
- 問** 全市民を対象とした支援としては、電子割引クーポン券「おおの割」と「もつとおおの割」を追加発行し、消費の下支えを通じた生活者及び事業者への支援を行い、市内での消費喚起を継続して実施していきたい。
- 問** 電子割引クーポンは全市民に行き渡らない。勝山市では全市民に向けていろいろ対策を取っている。何らかの措置を取るべきではないか。
- 答** 状況を把握しながら検討する。

# 少子化・人口減少に対する対策は



清風会

山崎 利昭 議員



## 県内トップの子育て応援施策を強力にPR

- 問** 少子化・人口減少に対する対策は。
- 答** 全国トップクラス・県内トップの子育て応援施策を強力にPRすることで、子育てしやすいまわるとしての取り組みが伝わるよう努める。
- 問** 出産経費の補助は、どのようなものがあるのか。
- 答** 出産に要する経費に対し、加入する健康保険や国民健康保険などの保険者から出産育児一時金が支給される。この一時金は、健康保険法等に基づく保険給付で、被保険者又はその被扶養者が出産したとき、出産に要する経済的負担を軽減するため支給される制度。
- 問** 健康保険法施行令等の改正により、本年4月1日から支給額は42万円から50万円に増額される。
- 問** 早朝・深夜・土日祝日など時間外や休日の出勤は、窓口負担がかかる。妊婦の負担にならないよう、本市で補助するべきでは。
- 答** 休日加算や時間外加算は医療機関によってさまざま、その差があるものについての補助となると、いろいろな課題があり、慎重に考えていく必要がある。
- 問** 結の故郷奨学金制度は、なぜ廃止にしたのか。
- 答** 奨学生と奨学生だった卒業生対象のアンケート調査の結果、Uターンへの大きな動機に結びついていないため、令和元年度をもって新規募集を終了した。
- 問** 本制度の利用状況は、令和4年3月末日時点で、貸与した者は224人で、そのうち市内にUターンした場合の半額免除は75人、さらに結婚した場合の全額免除は14人となっている。

# 度重なる不祥事について、市長の思いは



もえぎ会  
たかおか  
**高岡 和行**  
かすゆき  
議員



一般質問

## 不祥事が出ない組織づくりには、職員一人一人の意識改革が不可欠

- 問** 市長の政治姿勢を問う。度重なる不祥事について、市長の思いは。
- 答** 不祥事が出ない組織づくりには、職員一人一人の意識改革が不可欠と考える。
- 問** 不祥事のたび、二度とこのような事がないようにと言っているが、綱紀粛正とは。
- 答** 高い倫理観を持って公平公正に仕事に取り組みむことであり、そのため研修などを行ってきた。
- 問** しかし、なぜ5回も起きるのか。
- 答** 大変申し訳ないところだが、こういったことが起きないように努めていきたい。
- 問** 毎年1千万円の予算で職員研修をしても、過去5年に5件の不祥事発覚に市民は納得するか。
- 答** こういうことがないように、引き続き取り組んでいきたい。
- 問** 最近の選挙投票率についてどう思うか。
- 答** 市長選挙も市議会議員選挙も前回より下回っており、大変残念な結果である。
- 問** なぜ移動投票所などで投票率を上げようと努力しないのか。考えが理解できる。
- 答** 諸課題がある。
- 問** 学校でのいじめや不登校等の現状は。
- 答** 令和3年度のいじめは小学校19件、中学校8件あり、全てが解消済み。不登校は過去5年間で最多になっている。
- 問** 今後中学校を合併すると、不登校の生徒は出てこれるか。
- 答** 学校再編計画の冒頭に本市が目指す教育を整理している。

# 部活動の地域移行における実践研究で見えてきた課題は



市政会  
しらすき  
**白崎 貴之**  
たかゆき  
議員



## 経費や送迎などの保護者負担や練習用具の保管場所が課題である

- 問** 令和5年度のサトイモの病気対策の方針は。
- 答** 令和4年度、県により面的一斉防除の実証実験が行われたことで効果的な防除方法が確立できたことや、疫病被害の拡大抑制に一定の効果があつたことから、令和2年度から実施してきた薬剤防除に対する市の補助は、令和4年度で終了するが、JAの補助は継続されると聞いている。
- 県の対策としては、実証実験でドローンを活用した防除も効果が得られたことを受け、現在ドローンを保有していない生産者に対応するため、防除委託先の確保が検討されている。
- 問** 本市におけるマイナンバーカードの交付率は、県内各市町と比較してどうか。
- 答** 本市のマイナンバーカードの交付率は、令和5年2月末現在で68.2割である。全国平均の63.5割、県内平均の65.5割を上回り、県内9市の中では勝山市、あわら市に次ぐ交付率となっている。
- 問** 令和4年度に実施した部活動の地域移行における実践研究で見えてきた課題は。
- 答** 実践研究を行っている三つの競技に共通する課題の一つに、経費や送迎などの保護者負担がある。
- また練習用具の保管場所も課題の一つである。学校部活動の道具と混在しないよう、学校と連携して保管場所を確保しているスポーツクラブもある。
- これらの課題については、部活動地域移行検討委員会での協議を進め、休日における部活動の地域移行を着実に進めていく。



# 阪谷地区で行われている高齢者の移動手段の確保・支援に向けた実証実験の成果は

## ドライバー、利用者双方の移動支援に対する不安や負担を確認した



市政会

伊東由起恵 議員



**問** 阪谷地区で行われている移動手段の確保・支援に向けた実証実験の経緯と成果は。

**答** 市では、公共交通を含めたまちづくりの意見交換会や、地域での助け合いについて具体的な議論を進めている第2層協議体への聞き取りを行った。その結果、高齢者の移動手段の確保を大きな課題と捉えており、地域住民が運転を担う助け合いによる移動支援に関心が示された。

**問** 市では免許証を持たない65歳以上への支援として、5000円のタクシー割引チケット6枚3千円分を交付しているが、枚数の拡充を検討できないか。

**答** 令和3年度から新しく取り組んでいる事業のため、今後、意見を得ながら事業の検証を行っていききたい。

**問** 本市出身の若者への就職支援について、奨学金返還支援制度の活用状況は。

**答** 奨学金利用者の代わりに、就職先の企業が代理で奨学金の返還を行う本制度の利用状況については、日本学生支援機構から情報提供は得られなかったが、企業側にとって自社の人材確保やPR、法人税軽減などのメリットがあるため、市としても制度の周知を図っていく。

# 亀山公園の整備をどのように考えるか

## 景観を損ねないように安全で快適な散策空間の整備に努める



市政会

高田育昌 議員



**問** 令和4年の観光入込客数は206万人とのことだが、まちなか観光入込客数と越前大野城の入館者数は。

**答** まちなか観光入込客数は前年度比42%増61万人で、越前大野城の入館者数は前年比20%増の4・7万人である。

**問** 目前に迫る高速交通網の市内・県内延伸により百年に一度のチャンスを迎えるならば、亀山公園の整備に関してどう考えるか。

**答** 景観を損ねないように安全で快適な散策空間の整備に努める。大規模な整備は、国の交付金を活用しながら進めたい。

**問** 防災メールの登録者数は。また目標数は。

**答** 現在1840人である。令和7年度までに3千人を目指している。

**問** 住宅用火災警報器の設置状況は。

**答** 平成23年6月から義務化され、令和4年7月で設置率96・6%である。なお、全国平均84%、福井県平均96・1%である。

**問** 住宅用火災警報器の維持管理は。

**答** 10年を目安に交換を推奨している。半年に一回以上は点検されたい。

**問** 交換の周知はどのようにされているのか。

**答** 広報おのおのやホームページで周知をしているが、十分に行き届いていない面がある。今後あらゆる機会でも説明していく。

**問** 経費が高騰する中、企業・事業所への支援は。

**答** 令和4年度は中小企業者等経済変動対策支援事業補助などを実施している。県は令和5年度予算で、電気・ガス価格高騰緊急対策事業を創設しているため周知に努める。

# 文化会館の今後の方向性とスケジュールは



## 9月に予算計上し検討委員会を立ち上げ、1年かけて方針を決定していく

大野市民の会  
いのしま  
猪嶋 清文  
きよふみ  
議員



**問** 耐震上の問題から令和8年に使用できなくなる文化会館の今後の方向性とスケジュールをどのように想定しているか。

**答** 令和5年度は、関係者や利用団体、地元区に対し現在の情勢を説明するとともに、利用団体の状況などについても調査し、取りまとめを行った後、関係団体などで構成する（仮称）文化会館在り方検討委員会を立ち上げる。1年くらいかけて協議を進め、その報告を受けて方針を決定していく。そのために必要な予算を9月に計上したいと考えている。

**問** 令和2年度に策定した大野市水循環基本計画について、2年経過した現時点の施策等の進捗状況は。

**答** 地下水のかん養量を確保するための水田たん水面積の拡充や水環境の保全啓発を目的としたイトヨの里館内の展示リニューアル、水文化の継承を目的とした水に関する小矢戸区の年中行事の「おおの遺産」への登録を実施している。

また、関係団体の活動としては、大野市土地改良区が流域治水の一環として田んぼダムの取り組みを進めているほか、国が河川環境の改善を目的とした真名川ダムのフラッシュ放流を予定しており、計画は概ね順調に進捗している。

**問** 九頭竜湖など市内で増えている特定外来生物であるコクチバスの問題について、市はどのような認識しているのか。

**答** 根絶は難しいが、市も駆除活動に積極的に参加するとともに、問題の周知についても協力していきたい。

一般質問

# 大野市地域交通計画は市民にとってどのようなメリットや変化があるのか



## 停留所や料金設定を見直し、利便性の向上を目指す

もえぎ会  
うめばやし  
梅林 厚子  
あつこ  
議員



**問** 大野市地域交通計画は、高齢者や障がい者など、日常生活に困難や不安を抱えている市民にどのようなメリットや変化があるのか。

**答** 新しい交通ネットワークは、中部縦貫自動車道の延伸など交通事情の変化に伴う路線の見直しを進め、中部縦貫自動車道を利用した和泉地区を結ぶ新しい市営バス路線の運行を予定。停留所や料金設定についても見直し、利便性の向上とシンプルで分かりやすいサービスを目指す。

高齢者等が安心して地域に住み続けられる公共交通が実現するよう、市民の意見を聞きながら取り組みを進める。

**問** 文科省は公共交通の利便性が低い地域で、スクールバスに近隣住民の同乗を認めているが、利用できないか。

**答** 学校再編に伴うスクールバス運行がスタートしてから、そういう視点も入れて検討していく。

**問** 泉町の公共下水道管きよ整備のスケジュールは。

**答** 令和5年度の管きよ埋設工事は、10月から12月までの3カ月程度を予定している。泉町2区・3区、清瀧区での管きよ整備は5年程度を要する。

**問** 工事中の地下水の水质調査を求める。

**答** 工事前後、施工中に水质検査をして、状況を見守りながら工事をすすめる。

**問** 住民説明会では、地下水が出ない、濁る等が起きたときは、工事を中止し、原因追及・説明して、住民に説明し、問題が解決するまでは工事を進めないようにとの意見が出たが。

**答** そのような意見を踏まえ、慎重に進める。

## 星空保護区認定後の取り組みは



既に認定取得している3地域との連携や、民間事業者と共に開発した星空商品を国内外に向けて情報発信する

大野市民の会  
 菅山 晃一 議員



**問** 星空保護区認定後はどのような取り組みを予定しているか。

**答** 星空ツアーや星空に関連した商品の売り上げが増えたり、宿泊者数が増えたりして、観光消費額の増加が見込める。既に認定を取得している国内の3地域と連携した取り組みや、民間事業者と共に開発した星空商品を国内外に向けて情報発信し誘客につなげる。

**問** 星空を見に来ても宿泊施設がないなどの意見もあるようだが、対策は検討しているか。

**答** フレアール和泉やパークホテル九頭竜の客室の魅力向上を図る改修をしている。

また民間宿泊施設の客室の個室化や改修に支援し、宿泊機能の充実を図っている。

**問** 市内に点在する空き家を宿泊施設に活用して

**答** 市が改修する構想はないが、民間事業者が取り組む場合には支援を検討したい。

**問** スターランドさかだにが再び休館にならないために、施設を運営する「スターランドさかだ」に運営協議会とどのように協力していくか。

令和8年度末の譲渡後は、どのように施設を活用していくか。

**答** 施設譲渡までの間は市が管理費用を負担することで運営を支援し、譲渡後に同協議会が主体となって運営する体制に移行していく。

譲渡後も施設を有効活用するとともに、本市の特産であるソバや有機農業の振興を図り、地域の活性化と都市農村交流を通して、地域や来訪者に親しまれる拠点施設となるよう努める。

## 大野市脱炭素ビジョンを推進するために必要な市民の協力と林業の新たな担い手の確保をどのように進めていくのか



関係機関との連携を図るとともに市民への説明会を行う

大野市民の会  
 帰山 寿章 議員



**問** 大野市脱炭素ビジョン案の目標達成のために、豊かな森の保全によるCO<sub>2</sub>吸収促進に向けた林業の新たな担い手確保が必須では。

**答** 将来の林業を担う人材を育成するため、県の施策として福井林業カレッジが、本市の施策として林業就業者支援事業補助及び林業機械レンタル等事業補助がある。

さらなる支援策について、関係機関と協議したい。

**問** 快適で脱炭素なライフスタイルへの転換を図るため、どのように市民を巻き込むのか。

**答** 断熱性を高めた健康で快適な脱炭素住宅の普及、電気自動車など環境にやさしい車両への転換、J・R越美北線など公共交通機関の利用促進、空調や冷蔵庫などの省エネ家電への買い替え、太陽光設備等の再生可能エネルギーの導入、ごみの減量化などの取り組みを普及啓発する。

(仮称)大野市脱炭素推進会議を新たに組織し、脱炭素プロジェクトを推進する体制を構築するとともに各地区で説明会を行う。

**問** 地域資源を活用した再生可能エネルギー導入の今後の方策は。

**答** すでに稼働しているバイオマス発電所があるが、関係者と連携して森林資源の好循環システムを確立し、燃料の安定供給を図っていく。小水力発電は、民間事業者が主導で取り組んでいる。FIT制度を活用した整備が今後も進む見込みである。太陽光発電は冬の日光不足及び積雪による発電量の低下から普及が進んでいないが、説明会などで普及を図る。

\*FIT制度…再生可能エネルギー固定価格買取制度

くらし産業

(白崎委員長、廣瀬副委員長、笹山、猪嶋、林、山崎、廣田、梅林)

文化会館の今後の対応

◎理事者の説明

社会情勢の変化、新たな文化会館の整備・運営に係る財政的な課題とともに、利用実態、関係者の意見などを踏まえて、現文化会館の耐用年数経過後の対応を検討する。秋に在り方検討委員会を立ち上げ、1年程度をかけて協議を行い、令和6年度中に意見を取りまとめ、その内容を基に政策方針を決定したい。

◎委員の意見

利用者の安全や今後の活動場所を失うことへの不安を思うと、さらに早いスケジュールでの方針決定が必要。検討委員会を秋まで待たず早期に立

ち上げることが求められる。

また、文化会館は住民の避難場所に指定されているので、その対応についても遺漏のないようにされたい。

特産作物ブランド力強化事業補助



サトイモ畑

◎理事者の説明

サトイモ疫病対策として令和2年度から薬剤購入費を補助していたが、効果的な防除方法が確立されてきたことから、令和4年度で補助を終了する。

◎委員の意見

今後、疫病が発生した際に速やかに対応するためにも、特産作物の疫病対策について、日頃から県やJ Aと情報交換を密にされたい。

おおの森づくりプラン策定事業

◎理事者の説明

木材循環や脱炭素の視点を踏まえ、林業振興に関する基本方針を定める。

◎委員の意見

脱炭素の実現には林業振興は大変重要で、林業の担い手の育成・確保が急務である。市民に対し、林業の大切さを訴えながら、研修機関が実施する就業支援研修などについても周知を図り、関係機関と連携し人材育成に努められたい。プラン策定に当たっては、脱炭素ビジョンなど関連する計画等との整合を図られたい。

越前おおの水のがっこう管理運営経費



越前おおの水のがっこう

◎理事者の説明

越前おおの水のがっこうでは、大学との水循環に関する共同研究のほか、遠足で訪れた市外の児童・生徒に本市の水環境を楽しみながら学習してもらおうとワクワクまちなか遠足事業を実施している。

◎委員の意見

市内の児童・生徒にイトヨの生息環境保護などの学習機会を提供する本願清水イトヨの里があり、水環境を学ぶ点で、両施設の役割には重なる部分がある。水のがっこうに隣接す

日本一の星空発信事業



六呂師高原の星空

◎理事者の説明

10月に第35回「星空の街・あおぞらの街」全国大会を本市で開催する。

◎委員の意見

全国から大会関係者等が訪れるので、六呂師高原はもとより市全体で受け入れ態勢が整えられるよう準備されたい。

◎委員の意見

北陸新幹線金沢・敦賀開業、中部縦貫自動車道県内全線開通を見据え、どのようなスケジュールで、どのような目標を持って取り組むのか、6月以降の当委員会では説明を求めている。

前々回号(21号)において、記事の一部誤りがありましたので深くお詫が申し上げ訂正いたします。

【訂正箇所】

11ページの委員会視察レポートの産経環境常任委員会記事中心(誤)兵庫原井原市(正)岡山県井原市

(高田委員長、伊東副委員長、  
帰山、岸本、木戸屋、野村、  
堀田、高岡)

クラウドファンディング  
で叶える地域のみらい応援事業補助

◎理事者の説明

地域づくり団体等が取り組む地域課題解決や魅力向上につながる活動を市が認定し、クラウドファンディングサイト「Ready for(レディーフォー)」で募集した寄付金が目標額に達した活動に対し、寄付金を原資にして補助する。

◎委員の意見

クラウドファンディングを活用した事業実施は、市の財政負担を抑え、広く周知されるメリットはあるが、魅力ある企画でなければ、目標額の寄付金を集めることは困難である。応募があった活動の実施がかなうよう、その魅力づくりについても、行政が支援

されたい。

中学校再編と部活動の在り方

◎理事者の説明



令和6年4月の中学校再編に向け、新しい制服・体操服の方針やスクールバスの運行に関する事などが決定。

また、令和5年度から学校部活動の入部が任意加入となること、令和6年度夏の大会や文化祭等の実施後は、学校における休日部活動は行わないことを、生徒や今春入学する6年生の保護者に説明した。今後も丁寧な説明を行っていく。

◎委員の意見

再編や校舎改修により、子どもたちの学校生活の安全性や、快適な環境が損なわれることのないようにされたい。

部活動について、保護者から意見を伝える場がないなどの声を聞いている。学校再編と部活動の地域移行が進められる中、過渡期にいる子どもたちの不利益とならないよう配慮されたい。

不登校への対応

◎理事者の説明

令和3年度の不登校の児童・生徒の数が、過去5年間で最多であったことから、引き続き、学校への相談員等の配置や適応指導教室での早期学校復帰を支援するほか、不登校の未然防止や初期対応にしっかりと取り組む。

◎委員の意見

不登校の原因把握が不十分である。早急に集計データ等を基に把握し、不登校解消に向けて真摯に取り組まされたい。

大野市連合ふわわ女性の会の解散

◎理事者の説明

大野市連合ふわわ女性の会は、上庄地区の解散を受け、連合体としての活動の維持が困難と判断し、令和4年度末で解散する予定。下庄・和泉地区の女性の会はそれぞれの地区で活動を継続する。

◎委員の意見

地域における女性の交流や活躍の場が減少していくことが懸念される。女性の会を存続するため、最善の対応と必要な支援をされたい。

投票率低下への対応

◎理事者の説明

20歳のつどい参加者への冊子配布等の啓発活動を行い、投票率の向上に取り組んでいく。

◎委員の意見

投票率の低下は、政治的無関心の表れであり、政治の民主主義的正当性を揺るがしかねない問題である。今後の投票率を上げるために、投票率が

低い若者世代や、投票所へ赴くことが困難な人への対応が求められることから、商業施設での期日前投票所の開設など、柔軟な発想による前向きな取り組みを検討されたい。

在宅介護支援

◎理事者の説明

家族等による在宅介護の継続支援として、紙おむつの支給、在宅介護教室の実施、徘徊する認知症の方の位置が確認できる探知機の貸し出しなどを行っている。

◎委員の意見

介護施設への入所費用



を負担できないことなどが要因で、在宅介護を選択せざるを得ず、介護者が仕事を辞めたり、ヤングケアラーが増加したりということが社会問題化している。第9期介護保険事業計画策定に当たり、在宅介護に係る支援拡充について十分に議論されたい。

ヘルスウォーキングプログラム

◎理事者の説明

令和5年度は参加者を840人増の2470人に拡大。医療費や介護給付費への影響について評価を行い、事業効果を検証した上で、今後の継続方法を考えていく。

◎委員の意見

事業効果を高めるためには継続することが重要であるため、極力早期に事業効果を検証し、その効果が認められる場合は、安価に実施できる手法を模索し、事業継続につなげられたい。

# 令和5年3月第433回定例会 議案等の審議結果及び各議員表決

全会一致で可決・承認・同意された議案等

議案番号	議決結果	議案名	議案番号	議決結果	議案名	
3	可決	令和5年度大野市国民健康保険事業特別会計予算案	21	可決	大野市情報公開・個人情報保護・行政不服審査会設置条例の一部を改正する条例案	
4	可決	令和5年度大野市和泉診療所事業特別会計予算案	22	可決	大野市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案	
5	可決	令和5年度大野市後期高齢者医療特別会計予算案	23	可決	大野市手数料条例の一部を改正する条例案	
6	可決	令和5年度大野市介護保険事業特別会計予算案	24	可決	大野市児童デイサービスセンターの設置及び管理に関する条例等の一部を改正する条例案	
7	可決	令和5年度大野市農業集落排水事業特別会計予算案	25	可決	大野市放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例案	
8	可決	令和5年度大野市水道事業会計予算案	26	可決	大野市国民健康保険条例の一部を改正する条例案	
9	可決	令和5年度大野市簡易水道事業会計予算案	27	可決	大野市農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例等の一部を改正する条例案	
10	可決	令和5年度大野市下水道事業会計予算案	29	可決	越前おおの結ステーション設置条例の一部を改正する条例案	
11	可決	令和4年度大野市一般会計補正予算(第10号)案	30	可決	大野市高齢者に対するはり・きゅう及びマッサージ療養費の助成に関する条例を廃止する条例案	
12	可決	令和4年度大野市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)案	31	可決	大野市過疎地域持続的発展計画の変更について	
13	可決	令和4年度大野市和泉診療所事業特別会計補正予算(第2号)案	32	可決	大納辺地に係る総合整備計画の変更について	
14	可決	令和4年度大野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)案	33	可決	大野・勝山地区広域行政事務組合規約の一部変更について	
15	可決	令和4年度大野市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)案	34	承認	専決処分の承認を求めることについて(令和4年度大野市一般会計補正予算(第9号))	
16	可決	令和4年度大野市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)案	35	可決	損害賠償額の決定について	
17	可決	令和4年度大野市水道事業会計補正予算(第3号)案	36	同意	監査委員の選任について	
18	可決	令和4年度大野市簡易水道事業会計補正予算(第3号)案	37	同意	監査委員の選任について	
19	可決	令和4年度大野市下水道事業会計補正予算(第3号)案	38	同意	人権擁護委員候補者の推薦について	
20	可決	大野市個人情報の保護に関する法律施行条例案	市案	1	可決	大野市議会の個人情報の保護に関する条例案

## 各議員の表決が分かれた議案

議案番号・議案名	議員名(議席番号順)	議決結果	笹山晃一	堀山寿章	猪嶋清文	岸本一敏	白崎貴之	木戸屋八代実	林順和	廣瀬浩司	伊東由起恵	山崎利昭	野村勝人	高田育昌	廣田憲徳	堀田昭一	梅林厚子	高岡和行
2 令和5年度大野市一般会計予算案	出市議案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
28 大野市麻那姫湖青少年旅行村設置条例等の一部を改正する条例案	議案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○

議長(堀田昭一)は採決に加わらないので「/」で表示。議案に賛成○、反対×

## 6月市議会定例会のお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
6/4	5	6	7	8	9	10
	本会議(開会)					
11	12	13	14	15	16	17
	本会議(一般質問)	本会議(一般質問)		常任委員会(くらし産業)	常任委員会(くらし産業)	
18	19	20	21	22	23	24
	常任委員会(総文厚生)	常任委員会(総文厚生)	特別委員会(中部縦貫自動車道等交通対策)(こども政策・公共施設等改革)			
25	26	27	28	29	30	7/1
	本会議(閉会)					

市議会の本会議は、誰でも傍聴することができます。傍聴を希望する方は、議会事務局(3階)で受け付けを済ませてから、傍聴席(R階)にお入りください。

日程は、予定のため変更になる場合があります。

本会議と常任委員会の開会時間は午前10時を予定しています。

中部縦貫自動車道等交通対策特別委員会の開会時間は午前10時、こども政策・公共施設等改革特別委員会の開会時間は午後1時を予定しています。

ただし、開会前の会議により遅れる場合もあります。

詳しくは、議会事務局へ問い合わせてください。(☎0779-64-4830)

## 編集後記

大野に春が来ました。豪雪地帯の冬は長く、厳しい生活は春への訪れを一層感慨深いものへと誘い、期待を膨らませます。

市議会は新しい議員が就任し、平均年齢が6歳若返りました。市民の代表として、面目一新に向けて、各議員が気持ちを新たに第433回の定例会を終えました。新年度一般会計予算190億5千万円。このお金が市民のために、何にどのように使われていくのか、しっかりとチェックし、市民に説明ができるように議会の権能を果たしていきたいと切に思います。

(座長 梅林 厚子)

## 議会だより

### 編集委員会

委員 梅林 厚子  
岸本 一敏  
伊東由起恵  
山崎 利昭

※次回は、7月下旬の発行を予定しています。